



栗原小だより

新座市栗原 1-5-1 ☎042-473-7070

HP <https://e-kurihara-c-niiza.edumap.jp/>



令和5年度 9月号

令和5年8月29日

戻ってきた地域の夏

校長 古澤 健史

【2学期が始まりました！】

今年の夏も、最高気温35℃を超える猛暑日とその合間の集中豪雨により、大変な気象状況が日本の各地で見られました。

しかし、その一方でコロナ禍のため行われていなかった、地域の夏の行事がたくさん戻ってきました。その中でも町会主催の夏まつりが各町会で行われ、たくさんの子どもたちの笑顔であふれていました。暑い中で準備や運営、後片付けにご尽力いただいた皆様、ありがとうございます。地域を支える皆様の姿に、大人になったら自分もと思ってくれる栗っ子が増えてくれればと願っています。地域の行事は、「地域の一人」を育む大事な機会だと思います。

さて、本校では、7月31日・8月1日に林間学校を実施しました。5年生の子供たちは、榛名高原学校で初めての集団生活やカッター実習を体験し、1泊2日のプログラムをとおして、大きく成長して帰ってきました。栗原小の高学年として、2学期以降の活躍にとっても期待しています。

2学期が始まりました。今学期は、9月末のくりっ子まつり、10月末の運動会、11月末の音楽発表会など、学校行事が続きます。日々の学習活動や学校行事をとおして、栗っ子一人一人の可能性を引き出すよう、教育活動を推進してまいります。

【大勢の中のあなたへ】

皆様は、この暑い夏をどのように過ごしましたか。私は、本を読んで過ごしました。読んだ中に、ひきたよしあきさんの『大勢の中のあなたへ』（朝日学生新聞社）という本がありました。この本は、朝日小学生新聞に連載されていた、全国の小学生から送られてくる悩みに対して、ひきたさんがお手紙を書く形式で答えるというコーナーを本にまとめたものです。

ひきたさんが、一生懸命にそして誠実に子供たちと一緒に悩んで返事を書いていることが伝わってくるお手紙の数々でした。

その中の1つを紹介します。

個性的な文章を書きたいあなたへ

あなたに手紙を書きます。個性的な文章を書きたいあなたに手紙を書きます。

みなさんは「ChatGPT(チャットジーピーティー)」を知っていますか。たくさん情報を集積したコンピュータープログラムのことです。あなたが、「こんな作文を書いてほしい」と依頼すると、その通りに書いてくれます。質問すればくわしく回答してくれます。

まさに夢のようなプログラムだね。「もう自分で文章を書かなくてもコンピューターが書いてくれる！」と、喜びたくなる気持ちはわかるけれど、ちょっと待って。ChatGPTは、自分を紹介する文にこんなことを書いています。

「ChatGPTは人間ではありません。だから自分の意見をもったり、感情を感じたりすることはありません」

そうなんだ。文章は書いてくれるけれど、悩んだり、痛みやさみしさを感じたり、「この道をいく」と決断したりすることはできない。人間であるあなたの代わりはできないんだよ。

AI(人工知能)が進歩し、これからはコンピューターが書いてくれる。でも、それでは個性的な文章は書けない。あなたは感じたり、迷ったり、人の気持ちを考えたりすることをいっぱいした方がいい。それが個性的な文章を書く力になると私は思います。

自分にしか書けない文章を書く。そのためには、いろいろなことに驚こう。空の広さ、食べ物のおいしさ、人の笑顔のすばらしさ、こうした驚きをしっかり受け止めることができる。あなたにしか書けない文章が書けるはずですよ。

あなたは、どんな2学期にしたいですか。